



▲芸術文化と市民との接点を探る (札幌芸術の森/瑞龍寺)

▲世界トップクラスの音響を体感 (札幌コンサートホール Kitara)

学生国際合宿セミナー
2013～夏～

2013.8.16 発行

広報紙

TAKE FREE

ご自由にお持ちください

Vol.3
DAY 4-5

12日間の暑い、熱い夏。

姉妹・友好都市青少年未来プロジェクト「学生国際合宿セミナー2013～夏～」は、前身となる「日米露学生集中講座」が1992年に開催されて以来、20余年の歴史を誇る、グローバル人材育成事業。会期中の一般公開プログラム(現在受付中)は、参加学生との交流のチャンス!

- ★主催★ 札幌市、(公財)札幌国際プラザ、札幌姉妹都市協会
- ★会期★ 8月11日(日)～22日(木)
- ★テーマ★ 国際都市の可能性～文化と観光を通じたにぎわいの創造を考える
- ★参加者★ 総勢35人(留学生3人を含む札幌圏の学生20人、米・韓・中・露5カ国の姉妹都市からの学生15人)
- ★公開プログラム★ 8月19日(月)夜、22日(木)夜に実施。詳細は下記 ☎ ☒ WEBにて

【企画/制作】公益財団法人札幌国際プラザ

札幌市中央区北1条西3丁目 札幌MNビル3階

☎011-211-2105 ☒sicpfecc@plaza-sapporo.or.jp

http://www.plaza-sapporo.or.jp

「一期一会 ～ この言葉に、わたしの想いを託したい。」

ちょう だつ 張 奪 さん

中国・瀋陽師範大学日本語学部日本語学科3年

今夏の合宿セミナー前半には、札幌市内にある様々な「物語性に富んだにぎわいの場」の視察・体験プログラムが用意されています。8月14日(水)は、まちづくりと芸術・文化の関わりについて学ぶため、札幌コンサートホール Kitaraと札幌芸術の森へ。札幌コンサートホールでは、今回の訪問に合わせて特別に用意された舞台裏見学に加えて、専属オルガニストによるバイブオルガン演奏を聴く機会にも恵まれ、学生たちは至福の表情。

その後、学生たちが向かったのは、濃い緑に包まれた札幌芸術の森。様々な芸術分野の中でも、現在はいわゆる「サブカルチャー」の発信地となるべく取り組みつつあることは、特に学生の興味をひいた様子。また、毎夏札幌で開催される国際教育音楽祭 P.M.F. に関わるボランティアの活動紹介を通して、にぎわいの場を支え、その価値を高めることに貢献しようとする人々の存在についても学びました。



翌・15日(木)は「歴史・伝統と現代社会」「地域文化」をテーマに、瑞龍寺(札幌市中央区)での座禅研修と大倉山・円山地域の探検へ。瑞龍寺坐禅室では、蝉時雨が降り注ぐ静寂な空間で、伝統的な精神文化と、現代社会に生きる私たちとの新たな接点を学ぶひととき。禅師・皆川氏から「皆さん素直に取り組んでいましたね。短時間の座禅であっても集中力の高まりや心境の変化を感じるはず。ぜひこの経験を生かして」と、将来への期待が寄せられました。